

換気扇を清掃・点検

水沢工高生 公共施設で貢献活動

奥州

奥州市の県立水沢工業高校(小野寺訓校長、生徒361人)の地域貢献活動「テクノボランティア」は、29日を皮切りに始まった。同市水沢地域の公共施設2カ所で空調設備や換気扇など

の清掃や点検を生徒6人で実施。参加生徒は「点検や掃除だけでなく、コミュニケーションの勉強にも役立っていた」と精力的に取り組んでいる。

同校のテクノボランティアは2002年から電気科3年生が課題研究として取り組んでいる。市社会福祉

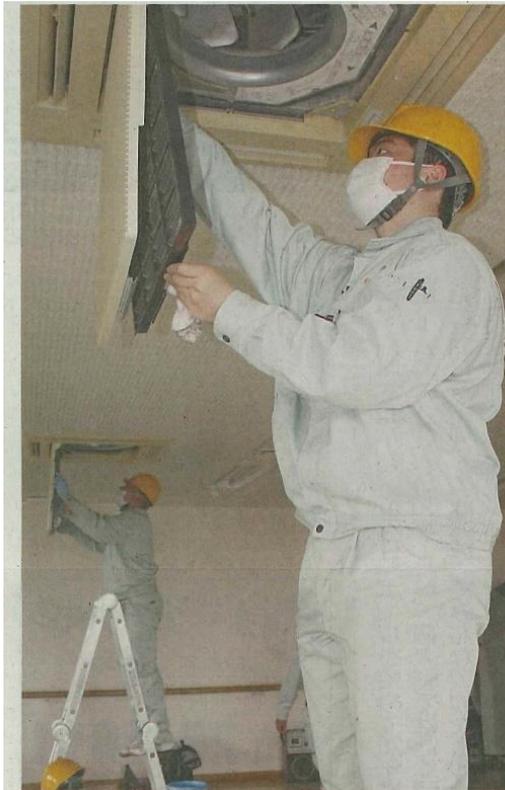
協議会が協力して1人暮らしのお年寄り宅や地域の集会施設など活動場所を決めて、電気機器の安全確認や清掃活動を行っている。

同日のボランティアは、常磐、佐倉河西地区センターからの依頼で、生徒3人ずつが出向いて活動を行った。

このうち同市水沢台町の常磐地区センターでは2階の天井にある空調設備や換気扇などを清掃。脚立を使って高い所にある空調設備

のカバーとフィルターを外してブラシなどでごみを除いた後、きれいにふいて元の位置に取り付けた。作業に当たった伊藤颯太郎さん(17)は「学校から外に出て電気機器を清掃するのは初めて。学校で習ったことが実際にできて良かった。たくさん役立てられるよう頑張りたい」と話していた。

同校によると、23年度は12月までの活動を予定している。



清掃した空調設備のフィルターの取り付けなどを行う水沢工高生徒